

[友朋会広報誌]  
vol.60

# 風だより



## Contents

- 02 平成21年度 友朋会の目標
- 03 友朋会の理念(患者様のために)
- 04 NEW FACE!
- 06 退院支援・地域生活支援プロジェクト P's(ピース)紹介
- 07 保育園遊具寄贈
- 08 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表  
患者様の権利宣言(一般科)(精神科)



## 平成21年度 友朋会の目標

友朋会 嬉野温泉病院  
理事長 中川 龍治

昨年は世界規模で未曾有な不景気が始まった年となってしまいました。2009年、今年も世界および日本の経済においては多難な一年が予想されます。そのような状況下で、私たち友朋会は一致団

結して、職員702名が一人たりとも「友朋会マインド」をもてないことがないように組織として充実したいと思います。そして、地域の皆様方のご理解とご支援のもと、「友朋会マインド」が良質な医療の提供につながっていきますように努力してまいりたいと存じます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年の友朋会の目標は、次のようにいたしました。

### 1.「支援、支持」

### 2.「医療人として、最も適切な第三者を目指す」

2007年に「傾聴」、2008年に「共感」の目標を立てました。「傾聴」と「共感」によって、患者様を「受容」することが患者様と医療者の信頼関係を築いていくこととなります。そして、患者様に対し、科学的な治療を行うと同時にこのようなアプローチにより、ホメオスターシス(生体恒常性)を再び活性化してもらうこと(=自己治癒力の再活性)ができますように「支援」していく必要があります。「治療」は患者様への直接的な援助です。「支援、支持」は患者様の自力での回復を文字通り「支える」、間接的な援助です。直接手を出してしまえば、自立を妨げることになるかもしれません。元の自分に戻ることに、可能な限り元の自分に近づくことが医療を必要とする人の「望み」です。それには、身体が元に戻ることに、もうひとつ、自分の心と社会的位置づけが元に戻ることで、初めて、元に戻った、近づいたと言えるのではないのでしょうか?一生懸命、元に戻ろうとしているときに、誰かがそばにいてくれて、見守っていてくれて、困ったときに適切な言葉をかけてくれる、適切な援助をしてくれる、そんな人がいてくれたら、とても心強いと思います。そして、その心強さは勇気となり、自立への大きな力となっていくはずで、上手に「支援、支持」できる人が「医療人として、最も適切な第三者」となり得るのです。

中等度の認知症の患者さんが自宅で、夜中に目が覚めます。記憶・見当識障害が中等度だと、自宅で一瞬ではあっても、「ここはどこ?」「どうして自分はここにいるの?」となります。そこで、もの盗られ妄想がある人は自分の財布や通帳などを確認するために筆筒の中などをゴソゴソと捜します。その物音に気づいた介護者のお嫁さんが「どうしたのですか?」と部屋にやってきます。財布を捜し

ているとわかり、「ここにいますよ」と見つけてあげます。そうすると、ご本人は「嫁が隠したに違いない。きっと私の財産を狙っている」となり、「今度はもっと見つからないように」と奥深く隠します。そして、当然、その場所を忘れ、また、「あの人が隠した」と思います。皮肉で、悲しいことに、一番介護で苦勞しているお嫁さんがもの盗られ妄想の犯人となってしまいます。それを知ったお嫁さんは「何故? どうして?」とどこにもやり場のない感情を抱き、家族による介護の精神的な限界が近づいてしまいます。このような状況で我々は何ができるのでしょうか? 「ここはどこ? どうして自分はここにいるの?」と困っている認知症の方に、我々は「ああ、あなたがいて、ここにいるなら安心ね」という「存在」となり、「その人らしくできる居場所」を提供できる。そして、そうできれば、それは「財布」よりも重要なものを提供できたということになるでしょう。それが理想です。さらには、お嫁さんのやりきれない気持ちの理解者ともなり、介護者を支えることができる必要があります。「利害関係のある家族という当事者」ではない「第三者」だからこそ、「両者」に対してできることがあります。「医療人として、最も適切な第三者」として、病院でも、施設でも、家族でも、どのような場所であっても、「その人がその人らしくあることができる」ように「支持的な力と技」の習得に全力を尽くしたいと思います。

またこの1年、誠意をもって真摯に、研ぎ澄まされた一人ひとりがひとつとなり、どんな小さなことでもひとつずつ根気強く積み重ね、前を向いて、しっかりと精進していきましょう。



## 友朋会の理念 『患者様のために』

### 理念に基づく基本方針

- 1 患者様一人ひとりの立場になって、提供すべき医療・福祉を考え、実践する
- 2 愛情のある医療・看護・介護・リハビリを実践する
- 3 患者様が真に社会(家庭)復帰できるための援助をする
- 4 芸術療法を実践する
- 5 治療空間としてのアメニティーを重視する
- 6 地域に必要とされる医療を実践する
- 7 認知症への取り組みにおいて地域のリーダーとなれるよう努力する
- 8 児童・思春期の精神医学分野においてその専門性を高める
- 9 院内におけるチーム医療および地域の関係諸機関との連携を強化する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

### 職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者様の自己決定権を尊重する
- 2 患者様が自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者様がセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者様に安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者様に医療的な説明を十分に行う
- 6 患者様に治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者様の「基本的な権利」を保障する
- 8 患者様の尊厳を保つ
- 9 患者様の終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者様の個人情報を守る

# NEW FACE!



大谷 まどか  
(内科)

昨年10月からものわすれメンタルクリニックにお世話になっております。

H9年福岡大医学部を卒業後、旧第一内科に入局しましたが、初めての指導医が芹川先生でした。芹川先生には、患者様に対する姿勢や医療に取り組む姿勢など医師としての基本を教えてくださいました。この度ご縁があり、再び芹川先生と同じ職場で働くことになり、あらためて身の引き締まる思いでいます。今後友朋会の一員として患者様のために頑張っていきますので、今後ともよろしくお願い致します。

昨年より当病院で勤務しております医師です。



齊木 励  
(精神科)

平成20年10月から精神科医師として勤務している齊木と申します。生まれは横浜で、学生時代の大半はアメリカ、カリフォルニア州ロサンゼルス近郊で過ごしました。佐賀には大学時代から住んでおり、佐賀に来たばかりの時は言葉の違いに戸惑いましたが、今では大分慣れました。佐賀医科大学卒業後、同附属病院の研修プログラムを経て、佐賀大学精神科に入局しました。まだまだ不慣れな部分も多く、気の行き届かない点などもあるかと思いますが、宜しくお願いします。



木原 功博  
(内科)

平成20年8月1日より勤務することになりました。担当は、東2・東3病棟を担当しておりますのでよろしくお願いいたします。



田川 恒之  
(内科)

私は昭和10年生まれの74才。小児科医であった父の長男として生まれました。

父は大村で開業していました。急患で電話があった冬の夜などはストーブをつけて患者さんを待っているような人でした。そんな父の姿を見て過ごし、私は小児科医になりました。

その後、私も大村で小児科を開業して、38年間小児科医療一筋で過ごしてきました。

私は平成20年9月より友朋会にお世話になっております。小児医療から老人医療と変わり戸惑ってしまいましたが、人は年をとるとまた赤ちゃんに戻ると言われますので、今までの経験を生かし、これからも日々の診療に励んでいこうと思っています。





岡本 純明  
(内科)

この度平成20年6月1日より、友朋会に勤務させて頂くことになりました内科医師の岡本です。出身は嬉野の吉田で佐賀大学医学部卒業後、内科に入局し、大学や西有田共立病院、武雄市民病院、佐賀県立病院好生館などにて勤務させていただきました。専門は呼吸器です。まだまだ未熟者ですが、諸先生方のアドバイスを心得て頑張っていきたいと思っています。

友朋会には親の代からの御縁があり、今年度より勤務させて頂いていますが、非常にしっかりしたシステムがあり、スタッフの方々の向上心には自分も頑張らねばという気持ちにさせていただいています。また、呼吸器の導入などさせて頂き、スタッフの方と一丸となり頑張っていきたいと思っています。

ご迷惑をかける点も多いと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。



竹内 大輔  
(精神科)

私は、精神科医であります。若い頃には2年半ほど純然たるリハビリテーションの病院にて仕事をしておりました。これは言語に興味があったからでした。かのフロイト先生も初期には失語の研究をされておられましたので、フロイトの足跡を辿ってチョット嬉しい気持ちで仕事をしておりました。

「マウスは妄想を持たない」これは精神療法系の医者がするマントラのような言葉であります。この「妄想」もまた言語の上に構築されるものであり、言語を通じて治療者に語り伝えられるモノです。その脳器質的基盤に、まずは若き医者として興味を持っていた次第でした。その後、年を取り私はこの言語の上に構築され、言語によって語られてくるという事実を「妄想を申そう」と称することにし、大事な治療の契機だと考えています。

今後ともよろしくお願い致します。



松尾 勝久  
(精神科)

7年程前に非常勤で勤務させて頂き少し遠回りをしましたが平成20年8月から友朋会の正職員に加えて頂きました。友朋会は建物のすばらしさのみならず、患者さんの立場に立った妥協のない姿勢に本当の価値があると感じています。これから認知症の方の外来を多く担当させていただくことになりました。認知症はその病態が脳の不思議な機能について考えさせられる点で魅力の尽きない領域であります。それより認知症を抱えた患者さんの戸惑いや不安を知り、それをご家族や職員のケアの手助けにつなげることが診療として大切であろうと思います。今後とも宜しくお願い致します。

# 地域生活支援科紹介

地域生活支援は文字通り地域で生活されている方を対象としており、そのニーズは病状に関することだけではなく、日常生活の様々な内容、就労に関する相談等を含んでいます。このようなニーズを満たすためには単一の職種だけでは支えきれない現実があり、多職種から成る新たな部署を設置し、多様なニーズに応えることになりました。

具体的には平成17年5月から取り組んでいる退院支援・地域生活支援プロジェクト(通称:ピース)の地域生活支援部門の中核部署となり、精神障害を持ちながら地域で生活している方(社会復帰施設を含む)を支える様々な部署との連携を図ります。そして対象者のニーズを把握し、安全に、安心して、より充実した地域生活が送れるよう援助することを目的とします。

このような目的を達成するために、以下の業務を行います。

- ①P'sプロジェクト全体の方針、計画の原案作り。
- ②ユーザー登録者への支援内容の充実、電話相談機能の強化。
- ③自立とエンパワメントを意識したケアスケジュール作成と評価。
- ④精神科訪問看護に関わる関連部署との調整、予定表作成。将来的には精神科訪問看護を主な業務とするスタッフの受け皿に。
- ⑤心理・疾患教育のためのテキスト作成と実施。
- ⑥退院支援部門と連携し、退院予定者のケアスケジュール作成と円滑な地域移行の援助。
- ⑦就労支援の推進。市内・町内企業との関係作り。就労支援専門員の養成。
- ⑧危機介入を行う体制の検討。
- ⑨他の支援者(他の施設・事業所、公的機関等)との情報共有。



# Topics

みどり保育園より



昨年より職員の子育てに関するカウンセリング(個人相談やグループ面談)をして頂いている山田真理子先生に保育園にもお越しいただき、保育環境についてのアドバイスや職員も年齢別研修会を通じ勉強させて頂いております。子ども達も山田先生が大好きで来られるのを毎回、楽しみにしております。

今回、保育園の子ども達に山田先生より絵本97冊と遊具を寄贈して頂いております。室内遊びの活動も広がり毎日とても楽しそうで笑顔いっぱいの子供達です。絵本・遊具は子ども達が成長するための宝物です。たくさんの子供達がいつまでも遊べるように大事に使わせて頂きたいと思っております。

ありがとうございました。

保育園 成松

## 【寄贈遊具】

流し台・ドレッサーセット・多目的ついたて・絵本たて・なべセット・食器セット・人形(男の子・女の子)・まな板包丁セット・電話機・お医者さんセット・積み木・カプラ・モザイクブロック・ゲーム(6)・チェーンリング・花はじき・お手玉



# 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

\*診療時間 ◎月曜～金曜

◎午前の部/8:30～12:30(第1土曜 8:30～12:30) ◎午後の部/13:30～17:00

※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

\*休診日/第2・3・4・5土曜、日曜、祭日、年末2日、年始3日間

\*予約診療/待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。ただし、新患、急患の場合は随時受け付けます。

日曜診療は精神科第2、第4日曜の午前中に予約診療を行っています。

平成21年4月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	土	
精神科	(新患)	精神科一般	1 菅高	三根	菅高	富松	齊木	担当医
			2 齊木	吉本		谷口	富松	
		ものわすれ	1 吉本	松尾	田中	松尾	竹内	
			2 竹内	竹内	谷口	田中	松尾	
	(再来)	富松	田中	中山	吉本	三根	予約者のみ	
		松尾	谷口	竹内	中山	菅高		
内科		榎	木原	竹下	林原/岡本	岡本	非常勤医師	
泌尿器科		倉富	江原	倉富	江原	倉富	倉富	
眼科		崎戸(13時～)		崎戸(10時～ 13時30分～)		崎戸(10時～ 13時30分～)		
歯科外来		和智/小無田	和智/小無田	和智/小無田 山田	和智/小無田	和智/小無田	和智 小無田(第1AM)	

\*眼科の診療時間 ◎月曜日 午後のみ13:00～17:00 ◎水・金曜日 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00

## 患者様の権利宣言(一般科)

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

- 個人の尊厳を守る権利  
常にひとりの人間としての人格を尊重される権利があります。
- 公平で差別されない治療および対応を受ける権利。  
平等で差別されない治療および対応を受ける権利があります。  
治療で達成可能な最良の医療を受ける権利があります。
- インフォームド・コンセントと自己決定権  
治療・検査について、分かりやすい説明を受け、医療の内容を理解し同意した上で適切な治療および対応を受ける権利があります。  
自分の治療計画に参加し、自分の意見を表明し、自己決定できるようにサポート(援助)を受ける権利があります。
- 情報に関する権利  
当院で行なわれたご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
- プライバシーの保護と秘密保持の権利  
医療の過程で得られた個人情報、秘密として遵守され患者様・家族様の承諾なしに開示されない権利があります。
- その他の権利  
退院後の地域における生活を見据えた治療計画が立てられ、それに基づく治療や福祉サービスを受ける権利があります。

入院中の患者様は、適切な医療を受け、安心して治療・療養に専念することが出来るよう上記の権利を有しています。また、これらの権利が患者様・家族様および病院職員をはじめ全ての人々に十分に理解され、それが保障されることこそ患者様の人権を尊重した医療を実現していく上で欠かせない重要なことであることをここに明らかにします。

## 患者様の権利宣言(精神科)

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

- 常にどういときでも、個人として、その人格を尊重される権利  
暴力や虐待、無視、放置など非人間的な対応を受けない権利
- 自分が受ける治療について、分かりやすい説明を理解できるまで受ける権利  
自分が受けている治療について知る権利
- 一人ひとりの状態に応じた適切な治療及び対応を受ける権利  
不適切な治療及び対応を拒む権利
- 退院して地域での生活に戻っていくことを見据えた治療計画が立てられ、それに基づく治療や福祉サービスを受ける権利
- 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自己決定できるようにサポート(援助)を受ける権利また、自分の意見を述べやすいように周りの雰囲気、対応が保障される権利
- 公平で差別されない治療及び対応を受ける権利  
必要な補助者等をつけて説明を受ける権利
- できる限り開放的な、明るい、清潔な、落ちつける環境で治療を受けることができる権利
- 自分の衣類等の私物を、自分の身の回りに安心して保管しておける権利
- 通信・面会を自由に行える権利
- 退院請求を行う権利及び治療・対応に対する不服申立てをする権利  
これらの権利を行使できるようサポート(援助)を受ける権利  
また、これらの請求や申立てをしたことによって不利に扱われない権利

入院中の患者様は、適切な医療を受け、安心して治療に専念することができるよう、上記の権利を有しています。これらの権利が、患者様本人および医療従事職員、家族をはじめ全ての人々に十分に理解され、それが保障されることこそ、患者様の人権を尊重した安心してかかれる医療を実現していく上で、欠かせない重要なことであることをここに明らかにします。

## 医療法人財団 友朋会

〒843-0394

佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919

電話:0954-43-0157

FAX:0954-43-3440

E-mail:info@yuhokai.com

URL:http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 精神科デイケア・ナイトケアセンター 0954-43-0194
- 老人デイケアセンター 0954-43-0233
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 授産施設「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151

〒815-0082 福岡市大橋2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F